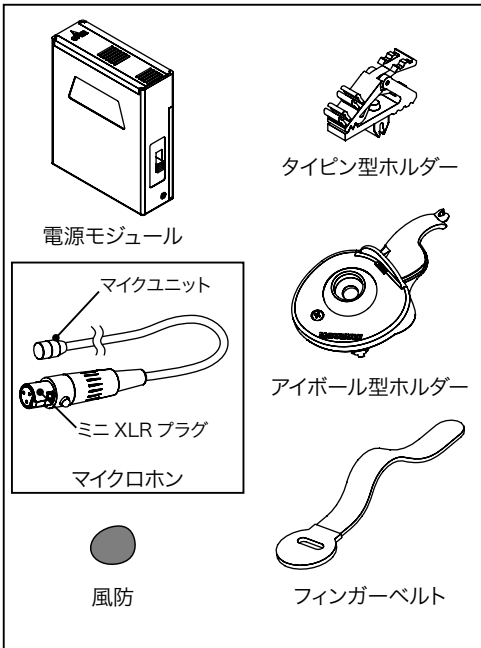


# M.SUZUKI HMH-100

ハーモニカ用マイクセット

## 取扱説明書

### 梱包内容



### 安全上のご注意

#### ◆ マイクロホン、電源モジュール

##### ⚠ 警告

- 分解や改造はしない
  - 強い衝撃を与えない
  - 濡れた手で触れない
- 感電によるけがや事故、本製品の故障の原因になります。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿や埃の多い場所に置かない
- 本製品の故障、不具合の原因になります。

##### ⚠ 注意

- 異常を感じたら  
電源を切り、お買いあげ販売店または鈴木楽器販売株式会社・各営業所へご連絡ください。
- お手入れは  
やわらかい布でカラ拭きしてください。アルコール、シンナー、ベンジン等は製品を傷めますので絶対に使用しないでください。

#### ◆ 電池についての注意

##### ⚠ 危険

- 電池の液が目に入ったときは目をこすらない  
すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。
- 電池の液が漏れたときは素手で液を触らない

##### ⚠ 警告

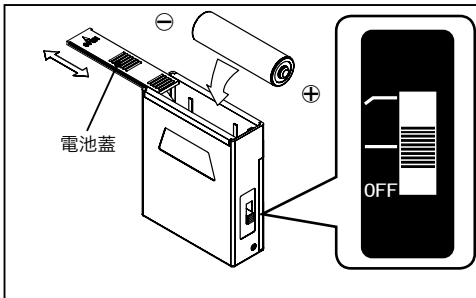
- 幼児の手の届くところに置かない
- 火の中に入れて、加熱、分解、改造しない
- +- を逆に入れない
- 乾電池は充電しない

##### ⚠ 注意

- 機器を使用したあとは必ずスイッチを切る  
液漏れの多くは、スイッチの切り忘れによる電池の消耗が原因です。
- 消耗した電池はすぐに取り出す
- 長期間使用しない場合は電池を取り出す
- 使用済みの電池は自治体の所定の方法で処分する

### 使いかた

#### ◆ 乾電池で使う



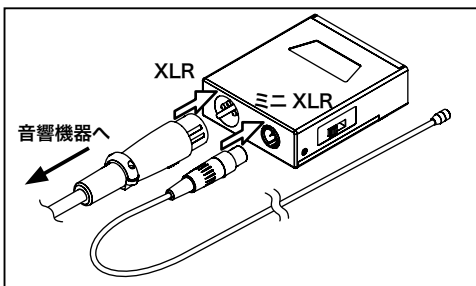
電源モジュールの電池蓋を開け、乾電池（単 3 / AA: 別売）1 本を +- に注意して入れ、電池蓋を閉じます。充電式電池はご使用にならないでください。電圧が低く、本機の性能を十分に発揮することができません。電源モジュールのスイッチを “ — ” 位置にします。ご使用後はスイッチを “OFF” 位置にします。



#### ◆ ファンタム電源で使う

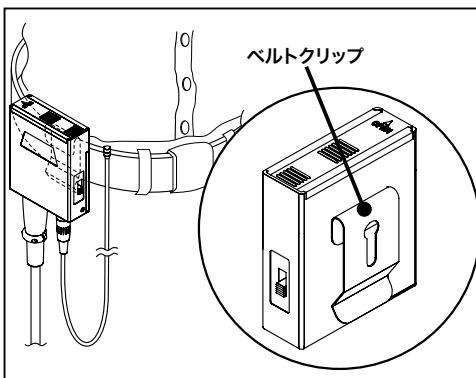
音響機器にファンタム電源がある場合は、本機に乾電池を入れる必要はありません。この場合、電源モジュールのスイッチは “OFF” でも動作します。

#### ◆ 接続する



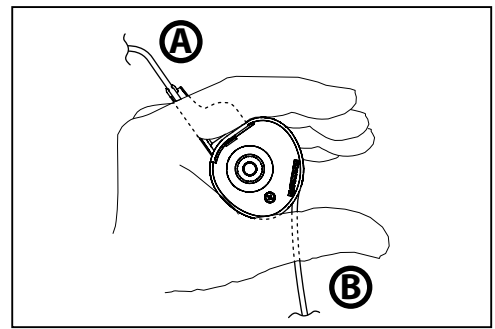
マイクロホンを電源モジュールのミニ XLR ジャックへ、マイクケーブル（XLR タイプ: 別売）を XLR ジャックへ接続します。それぞれの端子にはロック機構があります。ケーブルを取り外す際には、それぞれのボタンを押しながら行ってください。

#### ◆ 衣服へ装着する

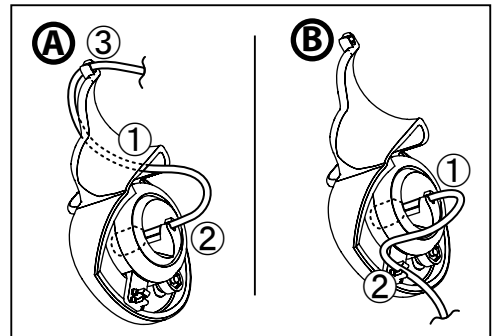


電源モジュールを背面のベルトクリップを使用し、衣服のベルトに取り付けます。衣服にベルトが無い場合は、ポーチやポシェット等をご使用ください。

#### ◆ アイボール型ホルダーを使う



マイクユニットをアイボール型ホルダーに取り付けて使用すると、楽器とマイクユニットとの距離が近くなり、音量的に有利です。

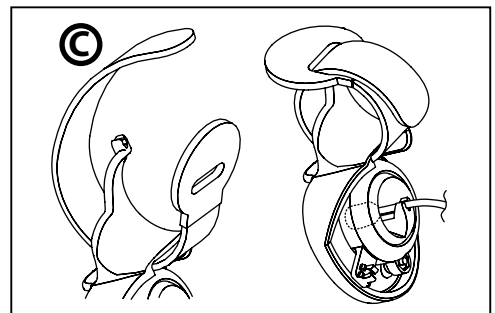


##### Ⓐ 手の甲側へコードを出す

アイボール型ホルダーの最も基本的な使いかたです。手の甲側へマイクユニットのコードを出すと、良好な演奏性が得られます。衣服の袖にコードを這わせる場合にも有利です。上図の番号順にコードを通します。

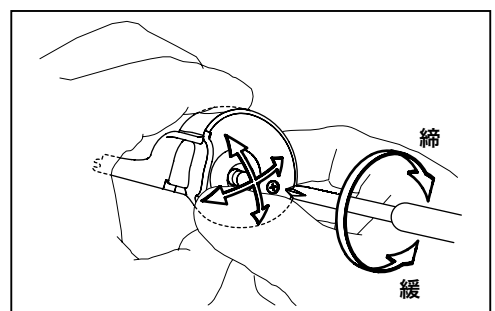
##### Ⓑ 手のひら側へコードを出す

もっと手軽に、手のひら側へマイクコードを出すこともできます。上図の番号順にコードを通します。断線を防ぐため、コードは引っ張ったり無理に曲げたりしないでください。



##### Ⓒ フィンガーベルトと組み合わせる

アイボール型ホルダーはフィンガーベルトと組み合わせることもできます。フィンガーベルトを丸めて指に通せば、手を開いてもホルダーを落とす心配がありません。



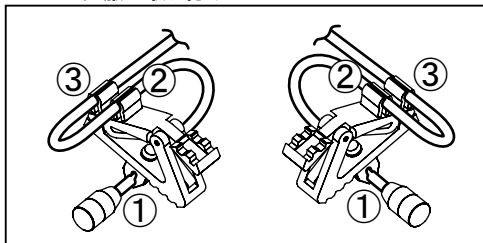
##### 方向を調節する

アイボール型ホルダーは、マイクユニットの方向を自由に調節できます。マイクユニットを発音しているリードへ向けると、効率の良い収音が行えます。

#1 ⊕ドライバーを用意しネジを緩め、マイクユニットの方向を調節したら再びネジを締めます。

## ◆ タイピン型ホルダーを使う

### A. 衣服へ取り付け

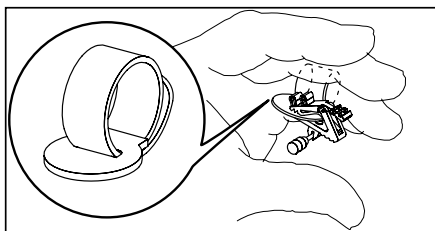


タイピン型ホルダーを使用し、マイクユニットを衣服の前合わせやネクタイ等に取り付けることができます。アイボール型ホルダーと比較すると、音量は多少不利になります。

図を参考に、衣服の前合わせに応じてマイクロホンのコードをアレンジし、タイピン型ホルダーに取り付けてください。

断線を防ぐため、コードは引っ張ったり無理に曲げたりしないでください。

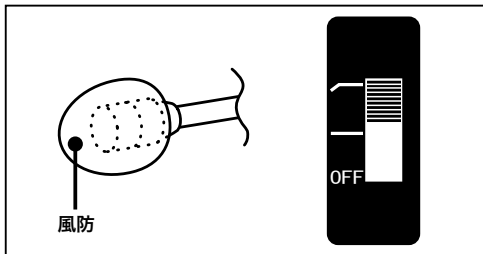
### B. フィンガーベルトと組み合わせる



タイピン型ホルダーはフィンガーベルトと組み合わせて使うこともできます。楽器とマイクユニットとの距離が近くなり、音量的に有利です。

フィンガーベルトを丸めて指に通せば、手を開いてもホルダーを落とす心配がありません。

## ◆ 風雑音を軽減する



風雑音への対処は、マイクユニットへ風防を装着するのが有効です。また、電源モジュールのスイッチを“ / ”位置に設定すると低音がカットされ、風雑音を軽減することができます。

## トラブルシューティング

### 音が小さい、歪む

電池が消耗しています。新しい乾電池に交換してください。

### パーツが損傷した

消耗品は別途販売しております。鈴木楽器販売株式会社・各営業所へお問い合わせください。

## 仕様

形式.....バックエレクトレット・コンデンサー型マイクロホン  
指向特性.....無指向性  
周波数特性.....50~18,000 Hz  
インピーダンス.....250 Ω  
感度.....-49dB ±3dB (電池)、-47dB ±3dB (ファンタム) (0dB = 1V/Pa, 1kHz)  
電源.....乾電池 (単 3/AA) ×1、ファンタム DC9-52V  
消費電流.....0.5 mA (マイクユニット)、0.8 mA (電源モジュール)  
電池寿命.....約 1000 時間  
寸法.....φ 5 x 8.4mm (マイクユニット)、76 x 64 x 29 mm (電源モジュール)  
ケーブル長.....1.5m  
重量.....14g (マイクユニット)、150g (電源モジュール、但し電池除く)  
出力端子.....XLR (電源モジュール)



株式会社 鈴木楽器製作所

〒430-0852 静岡県浜松市中区領家2-25-12 ☎(053)461-2325

事務所移転等のため、左記住所・電話番号が変わる場合がございます。

最新の情報に関しましては、弊社ホームページをご覧ください。



メールでのお問い合わせは下記まで  
info@suzuki-music.co.jp